西野産業、埼玉に関東物流センター開設

関東や東北の物流サービス向上
埼玉営業所も同時開設

測定機器専門商社の西野産業（大阪市西区、06・6541・7335、西野佳成社長）は8月1日、埼玉県加須市で「関東物流センター」（写真）を稼働させた。北関東から東北エリアの物流サービスの向上につなげる。それに先行して、5月には同じ敷地内に「埼玉営業所」も開設している。北関東地域はこれまで東京営業所からカバーしていたが、埼玉に拠点を構えることで、「訪問頻度を上げるなどして販売店への サポートを充実させる」（西野社長）考えだ。

8月から本格稼働した関東物流センター

測定機器専門の在庫拠点

西野産業は西野林一氏が、西野商店として1945年に個人創業した。翌年に「西野産業」を設立し、その後は測定機器の専門商社として順調に拡大してきた。2024年4月期の売上高は164億円にまで成長し、現在、北は仙台市から南は福岡市まで全国に13の営業拠点のネットワークを持つ。

一方、全国に営業拠点がありながらも、物流拠点は大阪市内にある「関西物流センター」しかなく、大阪から全国に商品を供給してきた。同センターでは1万点の在庫を持つが、「大阪からだと北関東以北は翌朝着が難しい。さらに、事業継続計画（BCP）の側面からも、長年関東での物流拠点の開設を模索していた」（西野社長）。

こうした長年の課題を解決すべく、8月に埼玉県加須市に関東物流センターを稼働させた。同センターは東北自動車の加須インターチェンジから約3㎞で、物流のアクセスのよい好立地にある。敷地面積5400㎡で、延べ床面積は3580㎡を確保した。土地や建物などに総額で約10億円を投資した。

在庫内容は測定機器に特化させる考え。「ただ一気に取扱いのある1000社の測定関連メーカーの在庫をそろえるのは難しい。まずは標準品などのアイテムから『スモールスタート』し、段階的に増やしてく」（西野社長）とは、東京、神奈川に続いて3拠点目となる。

これまで、北関東地域は東京営業所や仙台営業所からカバーしていたが、埼玉営業所が北関東を細かくサポートする体制にした。

埼玉営業所の開設に伴い、東京営業所は東京都内と、都内からアクセスのよい首都圏の一部を担当する。横浜営業所は神奈川から静岡の一部、山梨を営業エリアに変更した。「それぞれの地域で、営業担当者の訪問頻度を上げるなど、密着の営業を強化していく」（西野社長）という。

関東物流センターと埼玉営業所を同時に開設した西野産業。今回の開設を主導した西野道治専務取締役は「ようやく取引先様の要望に応えることができた。関西物流センターの手狭感もあったので在庫スペースの確保により弊社のインフラも整ったと思っています。この利点を生かし、得意先様の倉庫機能としての役割に貢献し、在庫ヒット率などサービスを拡充させ、売上・在庫倍増を目指し、前進していきたい」と話している。

将来は同社最大の物流拠点に

在庫のアイテム数や金額は現時点では未定。しかし、西野社長は「できるだけ早く、関東や東北エリアに多くの製品を即納できる体制を構築し、物流サービスの向上につなげたい」としている。また、「関西物流センターよりも敷地面積も大きく、オペレーションもしやすい。将来的には大阪を上回る在庫を持つ当社最大の物流拠点にしたい」（西野社長）と言う。

関東の地域密着営業を強化

物流センターに先立ち、5月には同じ敷地内に埼玉営業所も開設し、営業を強化している。営業3人、業務担当1人の合計4人体制で スタートさせており、カバーエリアは北関東一円と埼玉一部を想定している。同社にとっては関東エリアとして地域に必要とされる在庫をこれから増やしていく。

地域に必要とされる在庫をこれから増やしていく（センター内部）

関東物流センター
住　所：埼玉県加須市豊野台1丁目563−10
電　話：0480・98・2202
責任者：関東物流センター長 伊藤裕之氏

埼玉営業所
住　所：埼玉県加須市豊野台1丁目563−10
電　話：0480・98・2201
責任者：埼玉営業所長 門林永氏

ご挨拶

西野産業
西野　佳成　社長

物流、営業両面できめ細やかやサポートを

今年8月、長年の課題でもあった関東から東北エリアの営業と物流体制を強化すべく、埼玉県加須市に「関東物流センター」を新設しました。また、同地域（BCP）対策のためでのきめ細やかな営業体制の強化です。宮城県以北が懸念されています。即納 当社にはこれまで、大阪にしか物流センターがありませんでした。大規模な地震や台風が発生した際に、物流機能が停止してしまう可能性もゼロではありません。そのリスクを回避するためにかねてより関東での拠点を検討していました。

もう一つの狙いは即納体 インにした「スモールスタート」となります。しかし、できるだけ早く在庫を増やし、現在の大阪の物流拠点よりも多い在庫を持てるように成長させたいと考えております。

当社は測定専門商社であり、今回の関東物流センターの在庫も測定に特化させる予定です。測定関連機器に関しては『すぐに欲しい』という要望への対応力を強化していきたいと思います。今回の拠点開設によって、販売店様への営業担当者の訪問頻度を増やすほか、物流サービスの向上にもつなげます。今後も北関東を含めて関東以北をきめ細かく、サポートできる体制の構築に尽力して参ります。

伊藤裕之関東物流センター長に聞く

地域に必要な在庫拠点
メーカー、販売店のハブに

関東物流センターは8月に開設したばかりですが、将来は地域の販売店、ユーザー、そして社会に根差した拠点にしたいと考えています。

現時点で在庫アイテムの目標などは未定ですが、まずは在庫を増やしていきます。定番商品に加え、多様なジャンルのお客様が多い、関東や東北エリアで必要とされる測定機器の在庫に特化させます。そのためには、まず地域の販売店様のニーズをお聞きしたいと思っています。

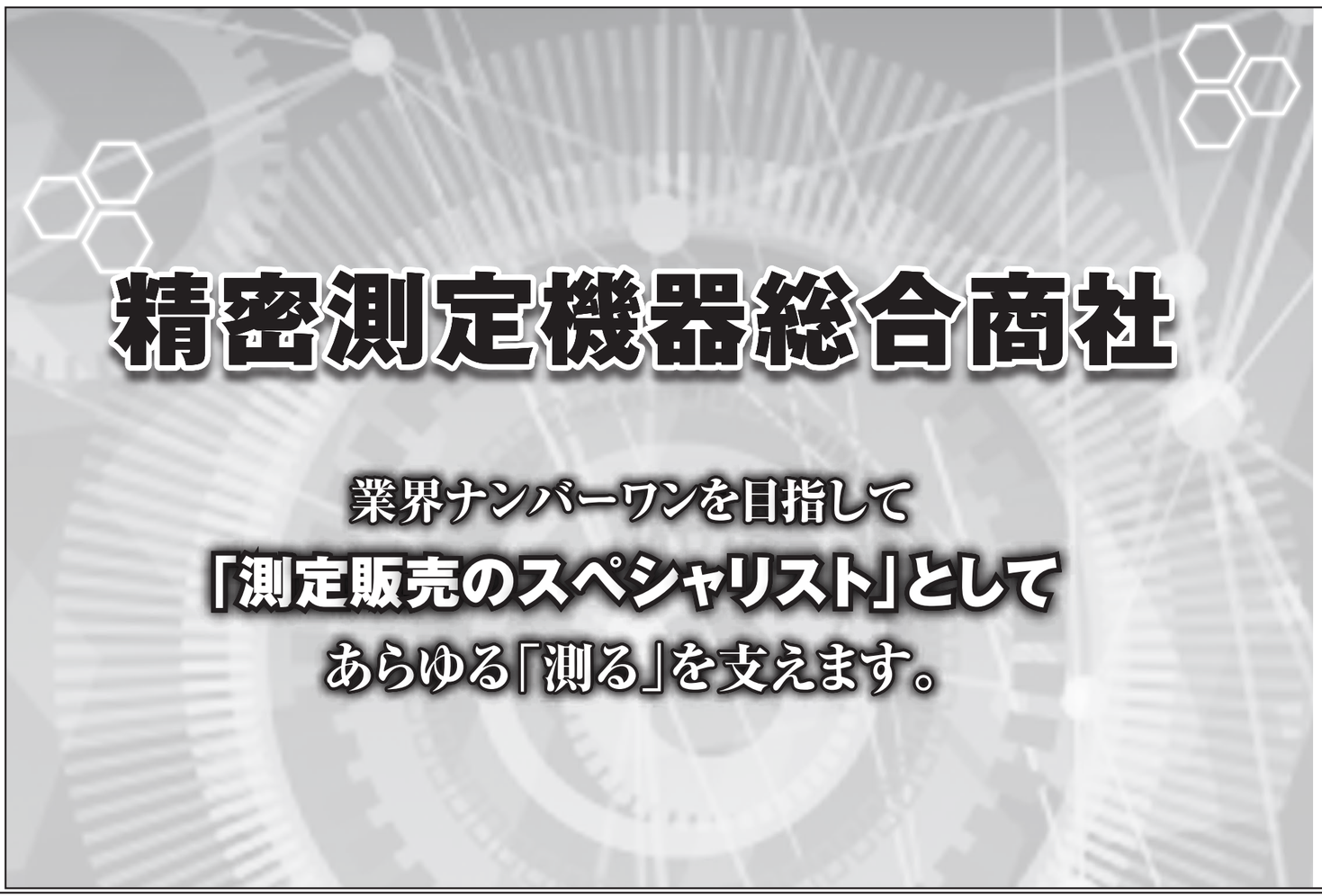
そうした思いを抱くのは、8年間東京で営業所長をさせて頂いた経験もあり、ユーザー、販売店、メーカーとのハブとなるような機能も持たせたいと考えています。具体的には、

また、将来的には単なる在庫センターにとどまらず、ユーザーを招いた勉強会や展示会なども開いていきたいと考えています。

当面、当センターがカバーするのは関東と東北がメインですが、将来は新潟や長野までをフォローできるようにしていきたいと思います。そして本社を置く関西だけでなく、関東でも「西野産業＝測定機器」というブランド構築につなげたいと思います。まずは、どんな在庫を置くのか、どんな立地にあるのか、いつでも見学に来て頂ければと思います。

当センターにはスペースの余裕があるので、メーカーと販売店、ユーザーを招いた勉強会や展示会なども開いていきたいと考えています。

そうした思いを抱くのは、8年間東京で営業所長をさせて頂いた経験もあり、ユーザー、販売店、メーカーとのハブとなるよう関係しています。近年、測定機器は高度化している一方で、実際に触れる機会が減っているようにも思います。具体的には、



測定のスペシャリスト

おかげさまで
来年2025年には
創業80周年
を迎えます。

西野産業株式會社
本　社　〒550-0013 大阪府大阪市西区新町 3-11-23
TEL：06-6541-7332　FAX：06-6541-6821

大阪営業所　TEL.06-6541-7331㈹　FAX.06-6541-7306
東大阪営業所　TEL.06-6747-6651㈹　FAX.06-6746-9504
仙台営業所　TEL.022-390-0911㈹　FAX.022-390-0913
東京営業所　TEL.03-6858-3371㈹　FAX.03-6858-3374
横浜営業所　TEL.045-590-5431㈹　FAX.045-590-5435
富山営業所　TEL.076-421-7355㈹　FAX.076-421-7397
名古屋営業所　TEL.052-732-4611㈹　FAX.052-732-4618
京都営業所　TEL.075-681-9227㈹　FAX.075-681-9178
神戸営業所　TEL.078-575-3663㈹　FAX.078-575-3419
岡山営業所　TEL.086-244-1188㈹　FAX.086-244-1988
広島営業所　TEL.082-292-3521㈹　FAX.082-292-3525
福岡営業所　TEL.092-283-6070㈹　FAX.092-283-6071
埼玉営業所　TEL.0480-98-2201㈹　FAX.0480-98-2211

http:www.g-nishino.co.jp